

倉吉市の人口動向（平成 28 年）

1 平成 27 年国勢調査による人口（確定値）と人口推計値との比較

○国勢調査人口（確定値）は、国推計（国立社会保障人口問題研究所。以下「社人研」）、市人口ビジョンにおける目標推計よりも高水準。

- H22（2010）年と比較した減少率は△3.30%で、社人研推計（△4.31%）よりも約 1%改善。
- 減少率は県内の低い方から 6 番目。4 市の中では最も高い状況。

（単位：人）

区分	H22（2010）年	H27（2015）年	減少率 （H22 年比）
社人研推計 A	50,720	48,533	△4.31%
市人口ビジョン 目標推計 B		48,893	△3.60%
H27 国勢調査人口（確定値） C		49,044	△3.30%
（H27 国調人口 C－社人研推計 A）	－	+511	
（H27 国調人口 C－市目標推計 B）	－	+151	

2 平成 28 年の人口動態（1 月～12 月／鳥取県人口移動調査）

●自然増減

出生数の減少により自然減が加速 [H28]△307 ← [H27]△306（1 人の拡大）

- 出生数は、総合計画・総合戦略における目標値（400 人）を 3 年連続下回っている状況。
- 人口ビジョンを達成するためには、出生数を 400 人以上の維持が求められ、子育て世代の負担軽減を含めた不安解消を図る取組と的確な情報提供が必要。
- 死亡数は、3 年連続で減少しているが、75 歳以上の人口は、今後 10 年間は増加していくことから、死亡数の減少は一時的なもので長期的には増加が予測される。

●社会増減

転入者数の減少により社会減が加速 [H28]△246 ← [H27]△92（154 人の拡大）

- 近年抑制傾向にあった社会減だが、転入者の減少により社会減が加速している状況。
- 転入者数は、県外・県内とも減少し、過去最低となっている。
- 転出者数は、県外への転出は抑制されたものの、県内転出が増加している状況。

<人口動態>

(単位：人)

年次	人口増減						
		自然増減			社会増減		
		出生	死亡		転入	転出	
H25	△418	△293	416	709	△125	1474	1599
H26	△445	△340	364	704	△105	1429	1534
H27	△398	△306	383	689	△92	1462	1554
H28 (前年比)	△553 (△155)	△307 (△1)	366 (△17)	673 (△16)	△246 (△154)	1276 (△186)	1522 (△32)

出典：倉吉市市勢要覧

<出生数と合計特殊出生率の推移>

年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28
出生数	461	409	416	364	383	366
前年比	+71	△52	+7	△52	+19	△17
合計特殊出生率	1.76	1.58	1.75	1.52	1.69	

※H28の合計特殊出生率は、人口動態統計月報年数（概数）（厚生労働省）において11月頃に公表予定

<出生順位別出生数の推移>

年次	H25	H26	H27	H28
出生数	416人	364人	383人	366人
第1子	179人(43.0%)	163人(44.8%)	184人(48.0%)	159人(43.5%)
第2子	148人(35.6%)	126人(34.6%)	118人(30.8%)	119人(32.5%)
第3子以降	89人(21.4%)	75人(20.6%)	81人(21.2%)	88人(24.0%)